

令和7年12月25日

東京都立村山特別支援学校

校長 阿部 智子

〒208-0012

武蔵村山市緑が丘 1460 番地 1

電話: 042-564-2781



学校だより

「今年一年を振り返り、令和8年をどのような年にするか考えましょう。」

今年の漢字が「熊」であったということが話題になっていました。私は、驚きと納得の混じった気持ちをもちました。東京に住んでいる我々教職員も、子供たちも、テレビの映像やニュースで様々な場所での「熊」の出没の状況を目にし、耳にしましたね。全くひとごとではなく、何か日本の自然界の状況が大きく変わっていることへの警鐘なのか。と考えさせられました。また、12月後半には、上野動物園のパンダが中国に返還されるので、パンダを一目見ようと長蛇の列ができているというニュースも入ってきていて、なんとも不思議な感じがしています。令和7年の「熊」という漢字の今年一年が、令和8年にどうつながっていくのか、明るく楽しい一年になってほしいと願うばかりです。

【第44回肢体不自由児・者の美術展／デジタル写真展 佳作賞】

今年度、第44回肢体不自由児・者の美術展／デジタル写真展に「愛猫」という表題で応募した中学部3年、日下部善之介さんの作品が、美術展の佳作賞を受賞し、12月3日（水）から7日（日）まで、池袋の東京



芸術劇場にて展示されました。絵画だけではなく書や写真など様々な年齢の方が参加されている展覧会で、応募作品は全国から833点という歴史あるものです。日下部さんは昨年の「焚き火」という作品に続き2年連続の受賞となりました。作品の構図や、表題や作品に添えるメッセージを工夫して作品のイメージを伝えることも、大切なポイントになります。また、来年もみんなで挑戦してみましょう。

令和8年1月23日（金）から1月27日（火）まで、同じく東京芸術劇場 展示ギャラリー1・2にて令和7年度東京都特別支援学校第34回総合文化祭で造形美術や手芸・家庭、放送・映像、写真、職業・作業、と様々な作品展があります。66校の特別支援学校が参加していて本校は造形美術に参加しています。

【12月11日（木）避難訓練】

12月になって東北地方で地震があり、津波警報が出るたびにテレビの中継がとても気になります。暑い時期も、寒い時期も、こうした災害に対する警戒は自分のこととして、しっかり身に付けないと強く思います。12月の避難訓練は日時・時間が公表されずに実施されましたので、児童・生徒によっては歩行訓練中であるなど、校内の様々な場所で訓練の放送を聞くという状況になりました。今回、私も放送が流れてから、各階の様子や教室の様子を見て回りましたが、たいへん落ち着いて、その場に待機する、車いすに乗る、防災頭巾を身に付ける、など取り組めました。今年度4月から繰り返して行ってきたことの大切さを思い、児童・生徒の成長を感じました。

【2025年（令和7年）ありがとうございました】

新型コロナウイルス感染症が、「5類感染症」の位置付けとされてから、落ち着いて学習できるようになったと安心していましたが、この12月は、インフルエンザが蔓延しているという情報に危機感をもち、うがい手洗い等の感染症対策を講じる、一ヶ月となりました。肢体不自由校としては常にコロナ感染、インフルエンザ感染などに敏感に反応しながらですが、何とか学びを止めずに2026年（令和8年）を迎えることができそうです。令和8年1月8日（木）が始業式となります。穏やかなお正月をお迎えください。

校長 阿部 智子